

地方創生推進タイプ（旧：地方創生推進交付金）

事業①	オーガニック SHIBATA プロジェクト		担当課	農林水産課、商工振興課
計画期間	令和4年度～令和8年度（5か年）	関連事務事業	地域農産物等ブランド化推進・輸出促進事業、有機農業産地づくり推進事業、SHIBATA ブランディング推進事業	
事業概要	<p>新型コロナ感染拡大による外食需要の低迷等により、米、和牛、イチゴの価格下落の課題がある中で、国内・国外で優位性をとれるブランド力が求められている。そこで、安心・安全・健康などをキーワードとしたオーガニック米の生産体制の確立やオーガニック素材を原料とした加工品などの製造、健康志向の高付加価値商品の開発、既存商品の改良などを行い、海外市場の要望に応えられる商材づくりを支援する。また、新発田牛・越後姫では海外の外食店をターゲットとして、プロモーションを展開し、販路を開拓するとともに、バイヤーを招聘した商談会、各店舗による物産展開催のほか、EC サイト での販促やふるさと納税返礼品での活用なども行うことで国内市場においても販路拡大策を実施する。</p>			
実施概要 (実績)	R4 年度		R5 年度	
	<p>○オーガニック米産地形成（3,694 千円） ・オーガニック米栽培に向けた研修 ・オーガニック米実証ほの設置 等</p> <p>○加工品等製造、販路拡大（8,028 千円） ・オーガニック米を使用した加工品開発 ・「しばた大物産展」の開催 等</p> <p>○農産物等販路拡大（11,577 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・輸出及び販路拡大に向けたテストマーケティング 等</p>		<p>○オーガニック米産地形成（5,207 千円） ・地域おこし協力隊の登用 ・除草ロボットの研究 等</p> <p>○加工品等製造、販路拡大（9,426 千円） ・「しばた大物産展」の開催 ・既存商品の改良、低糖質商品の開発 等</p> <p>○農産物等販路拡大（15,586 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・販路拡大に向けたトップセールス 等</p>	
	R6 年度		R7 年度	
	<p>○オーガニック米産地形成（5,998 千円） ・国内外におけるオーガニック米の PR ・除草ロボットの研究 等</p> <p>○加工品等製造、販路拡大（8,630 千円） ・「しばた大物産展」の開催 ・既存商品の改良、高付加価値商品の開発 等</p> <p>○農産物等販路拡大（15,572 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・販路拡大に向けたトップセールス 等</p>		R8 年度	

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
有機 JAS 認証によるオーガニック米の生産面積	5ha	目	5ha	目	8ha	目	10.5ha	目	16ha	目	27ha
		実	5.5ha	実	9.5ha	実	10.3ha	実	—	実	—
オーガニック米の生産量	7 トン	目	7 トン	目	19.9 トン	目	25.9 トン	目	39.1 トン	目	65.5 トン
		実	21.5 トン	実	34.4 トン	実	30.2 トン	実	—	実	—
新規加工品・特産品の数	0 アイテム	目	5 アイテム	目	15 アイテム	目	25 アイテム	目	33 アイテム	目	41 アイテム
		実	14 アイテム	実	28 アイテム	実	52 アイテム	実	—	実	—
米、牛肉、加工品、イチゴの総輸出金額	40,000 千円	目	42,000 千円	目	48,000 千円	目	51,000 千円	目	76,000 千円	目	111,000 千円
		実	58,116 千円	実	62,259 千円	実	61,103 千円	実	—	実	—

事業費	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計
計画額	26,000,000 円	32,000,000 円	32,000,000 円	21,333,000 円	21,333,000 円	132,666,000 円
実績額	23,298,999 円	30,219,155 円	30,199,242 円	円	円	円
交付金充当額 (1/2)	11,649,498 円	15,109,576 円	15,099,620 円	円	円	円

外部評価
・新発田の農産物は県外の人からも好評であるため、積極的に PR してほしい。

事業②	大倉喜八郎別邸「蔵春閣」復元・公開を契機とした～新発田の歴史・文化・食～発信プロジェクト		担当課	みらい創造課、商工振興課、観光振興課、新発田駅前複合施設、歴史図書館、文化行政課
計画期間	令和5年度～令和9年度（5か年）	関連事務事業	蔵春閣移築関連事業、シティプロモーション推進事業、蔵春閣利活用事業、城下町しばた全国雑煮合戦開催参画事業、まちなか賑わい創出事業、創業支援事業、商工観光団体支援事業、駅前複合施設利用促進事業、歴史図書館事業、茶会開催事業、市民文化会館文化創造事業	
事業概要	当市出身である大倉喜八郎の別邸「蔵春閣」が移築・復元されることを契機に、①大倉喜八郎&食文化の発信事業②動態保存による「蔵春閣」の積極的利活用事業③「蔵春閣」を核とした中心市街地活性化事業④大倉喜八郎スピリット～進一層～の伝承事業の4事業を柱として、シビックプライドの醸成、まちの賑わい創出を図る。			
実施概要 (実績)	R5年度	R6年度	R7年度	
	○喜八郎&食文化の発信（7,474千円） ・東公園内での「プレ雑煮合戦」開催 ・料理教室、「市民茶会」の開催 等	○喜八郎&食文化の発信（8,290千円） ・東公園内での「雑煮合戦」開催 ・料理教室、「市民茶会」の開催 等		
	○動態保存による利活用（8,756千円） ・開館記念式典・イベントの開催 ・開館に合わせたPR経費 等	○動態保存による利活用（8,239千円） ・1周年記念イベント・企画展の開催 ・移築工事報告書の作成 等		
	○中心市街地活性化（9,252千円） ・ラッピングトレインの運行 ・蔵春閣と月岡温泉を結ぶバスの運行 等	○中心市街地活性化（9,693千円） ・プロモーション映像の作成 ・民間団体等が実施するまちなかでのイベント開催補助 等		
	○進一層の伝承（850千円） ・蔵春閣での創業塾実施 ・大倉喜八郎に関する講演会開催 等	○進一層の伝承（800千円） ・蔵春閣での創業塾実施 ・大倉喜八郎に関する講演会開催 等		
	R8年度	R9年度		

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	
蔵春閣の団体見学回数	0回	目	5回	目	13回	目	21回	目	30回	目	40回
		実	94回	実	92回	実	—	実	—	実	—
本事業に関連した官民連携、民間主導の事業実施数	0件	目	10件	目	17件	目	24件	目	32件	目	40件
		実	11件	実	18件	実	—	実	—	実	—
蔵春閣入込客数	0人	目	12,000人	目	16,500人	目	21,000人	目	26,000人	目	29,000人
		実	65,737人	実	31,134人	実	—	実	—	実	—
蔵春閣貸館件数	0件	目	30件	目	62件	目	68件	目	75件	目	82件
		実	75件	実	94件	実	—	実	—	実	—

事業費	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	合計
計画額	31,594,000円	31,400,000円	33,395,000円	33,000,000円	33,000,000円	162,389,000円
実績額	26,331,669円	27,022,260円	円	円	円	円
交付金充当額（1/2）	13,165,834円	13,511,130円	円	円	円	円

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設ではガイドの役割が重要である。当市でも観光ガイドボランティアによる案内が行われていることをPRしてほしい。 ・リピーター獲得に向けた施設運営が求められる。また、SNSを有効に活用して効果的に情報発信することも重要である。

事業③	人材・学・企業の結集「課題先進地からのデジタルイノベーション戦略」		担当課	商工振興課
計画期間	令和5年度～令和9年度（5か年）	関連事務事業	市内産業DX推進事業	
事業概要	<p>市内企業で課題となっている、人手不足解消、労働の付加価値向上に向けて、企業のDXにかかる経費を補助することで、労働の効率化・省力化を図る。</p> <p>市全体でDXの気運が高まることで、自らDXに取り組む企業が増え、人手不足の解消、労働の付加価値向上が実現し、若い労働者が集まる労働環境を作っていく。</p>			
実施概要 (実績)	R5年度	R6年度	R7年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業へのヒアリングを通じたニーズの把握 DXに係る経費の補助制度創出(1年目)(R5交付件数：6件) 市内事業者が無料で利用できる「DXあれこれ相談会」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> DXに係る経費の補助制度創出を継続(2年目)(R6交付件数：6件)(累計：12件) 市内事業者が無料で利用できる「DXあれこれ相談会」の実施 		
	R8年度	R9年度		

重要業績評価指標 KPI (数値目標) 1	基準値	R5年度 ²		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	
「新潟県第4次産業革命分野・デジタルイノベーション創出連携支援計画 ³ 」構成大学等 ⁴ の県内就職率	41.8%	目	42.83%	目	43.89%	目	44.95%	目	46.02%	目	47.09%
		実	42.82% 37.7%	実	37.4%	実	—	実	—	実	—
本事業による付加価値創出額 ⁵	0億円	目	1.5億円	目	4.5億円	目	10億円	目	17億円	目	25.5億円
		実	1.5億円 6.3億円	実	10.9億円	実	—	実	—	実	—
サテライトオフィスの立地件数	53件	目	73件	目	96件	目	119件	目	143件	目	168件
		実	74件 97件	実	105件	実	—	実	—	実	—
人材・企業・大学等が結集するエコシステム ⁶ の形成	未達成	目	未達成	目	未達成	目	未達成	目	未達成	目	達成
		実	未達成	実	未達成	実	—	実	—	実	—

事業費	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	合計
計画額	2,500,000円	3,250,000円	3,200,000円	3,150,000円	3,100,000円	15,200,000円
実績額	2,033,000円	2,108,000円	円	円	円	円
交付金充当額(1/2)	1,016,500円	1,054,000円	円	円	円	円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

1 連携自治体（新潟県、長岡市、三条市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、魚沼市、南魚沼市、弥彦村、阿賀町、湯沢町、津南町）全体の KPI

2 本事業の KPI は、例年 9 月頃に県において確定するため、昨年度の報告値（見込値）から確定値に修正

3 AI 等の先端技術を活用した企業の生産性向上の実現と、地域資源など多様な知見と組み合わせる新たなビジネスモデルや製品・サービスを生み出す「デジタルイノベーションの創出」に向けて、新潟県が令和元年に作成。

4 新潟大学、長岡技術科学大学、新潟工科大学、長岡造形大学、長岡工業高等専門学校

5 地域の特性を活かし、経済効果が認められる事業を知事が承認するもの。
なお、知事承認事業 1 件あたり 0.5 億円として算出

6 複数の企業がパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら、業界の枠を超えて発展していく仕組み。

地方創生整備推進型（旧地方創生整備推進交付金）

事業①	持続可能な安心して暮らせる地域づくり計画			担当課	下水道課				
計画期間	令和2年度～令和7年度（6か年）	関連事務事業	新発田地区下水道整備事業、農業集落排水施設長寿命化事業						
事業概要	人口減少に対応し、農村地域の水質保全を継続することで、良質な農作物の生産基盤を安定させるとともに、他の関連事業とも密に連携を図ることで、持続可能なまちづくりや担い手確保などの農業振興を目指すため、公共下水道及び農業集落排水施設の広域化・共同化を実施し、併せて農業集落排水施設の機能更新、監視システムの統一を図る。								
実施概要 (実績)	公共接続 (4地区)	計画	R2年度 1,270m	R3年度 3,220m	R4年度 661m	R5年度 420m	R6年度 30m	R7年度 0m	合計 5,601m
		実績	2,038m	1,309m	1,381m	338m	472m	—	5,538m
	農排強化 (2地区)	計画	石喜実施設計	石喜機能更新	石喜機能更新 菅谷実施設計 菅谷機能更新	石喜機能更新 菅谷機能更新	菅谷機能更新	—	—
		実績	石喜実施設計	石喜機能更新	石喜機能更新 菅谷実施設計 菅谷機能更新	石喜機能更新 菅谷機能更新	菅谷機能更新	—	—

重要業績評価指標 KPI(数値目標)	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
経営20ha以上の農地所有適格法人数	46法人	46法人	47法人	48法人	48法人	60法人	61法人
		55法人	55法人	59法人	60法人	61法人	—
農業集落排水の維持管理費	75,666千円	75,666千円	75,666千円	69,466千円	66,366千円	66,366千円	60,566千円
		75,666千円	89,054千円	76,852千円	66,231千円	50,828千円	—

事業費 ⁷	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
計画額	177,554,000円	398,770,000円	445,132,000円	315,900,000円
実績額	191,521,000円	326,202,000円	538,700,000円	333,900,000円
交付金充当額	88,777,000円	199,385,000円	222,566,000円	157,950,000円
事業費	R6年度	R7年度	合計	
計画額	318,000,000円	335,539,000円	1,990,895,000円	
実績額	375,310,000円	円	円	
交付金充当額	57,310,000円	円	円	

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

⁷ 単年度ごとの「国の負担割合」が固定ではないため、年度によって交付金充当割合が異なるが、計画期間内で総事業費の1/2を上限交付される仕組みとなっている。

事業②	新発田市観光周遊ルートの形成による地域再生計画		担当課	地域整備課、維持管理課		
計画期間	令和4年度～令和8年度（5か年）	関連事務事業	市道改良整備事業、林道維持管理事業			
事業概要	新発田 I.C を起点に主要観光地を結ぶ市道外ヶ輪公園大手門線及び林道新発田南部線を整備し、観光周遊ルートを形成することで観光客の交通利便性を高め、市全体の観光振興を図る。					
実施概要 (実績)		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
	市道外ヶ輪公園大手門線事業進捗率 (事業費ベース) ⁸	2.8% 2.3%	44.2% 35.5%	44.7%		
	林道新発田南部線事業進捗率 (事業費ベース)	25.0%	50.0%	75.0%		

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
市全体の観光客数の増加 ⁹	1,842,673 人	目	2,673,200 人	目	2,680,000 人	目	2,687,500 大 2,383,000 人	目	2,695,000 大 2,653,000 人	目	2,702,500 大 2,660,000 人
		実	1,838,425 人	実	2,025,573 人	実	1,947,571 人	実	-	実	-
新発田城の入込客数の増加	46,274 人	目	48,375 人	目	48,500 人	目	48,625 人	目	48,750 人	目	48,875 人
		実	46,274 人	実	52,398 人	実	58,451 人	実	-	実	-

事業費 ¹⁰	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計
計画額 ¹¹	14,000,000 円	305,000,000 円	7,000,000 円	70,000,000 円	30,000,000 円	426,000,000 円
	16,400,000 円	173,245,000 円	64,000,000 円	185,355,000 円	87,000,000 円	526,000,000 円
実績額	16,400,000 円	173,245,000 円	60,605,000 円	円	円	円
交付金充当額	8,200,000 円	152,500,000 円	3,400,000 円	円	円	円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

⁸ 本計画は R7.3.31 付けで事業費の変更を行っており、変更後の事業費に基づいた進捗率を記載

⁹ 本計画は R7.3.31 付けで整備量、KPI の変更を行っており、令和 6 年度以降は変更後の目標値を記載

¹⁰ 単年度ごとの「国の負担割合」が固定ではないため、年度によって交付金充当割合が異なるが、計画期間内で総事業費の 1/2 を上限交付される仕組みとなっている。

¹¹ 本計画は R7.3.31 付けで事業費の変更を行っており、変更後の事業費を記載

地方創生拠点整備タイプ

事業①	道の駅加治川リニューアル整備計画	計画期間	令和3年度～令和7年度 (交付金活用事業は令和3年度のみ)
事業概要	道の駅加治川の機能向上と施設運営体制の改革により、利用者の利便性を高め、ひとの流れの創出と消費拡大に資する観光拠点、さらには、農産物や特産品の販売拠点施設へと再生し、「交流人口の拡大による地域活性化」と「稼げる観光地づくり」を目指す		

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度	
道の駅加治川入込客数	166,402 人	目		目	182,000 人	目	187,000 人	目	195,000 人	目	205,000 人
		実		実	297,685 人	実	208,052 人	実	181,866 人	実	-
道の駅加治川販売売上額	57,245 千円	目	整備工事による 休館のため実 績なし	目	85,000 千円	目	90,000 千円	目	95,000 千円	目	100,000 千円
		実		実	170,628 千円	実	130,170 千円	実	126,953 千円	実	-
農産物直売所の契約農家数	90 人	目		目	95 人	目	100 人	目	110 人	目	125 人
		実		実	55 人	実	64 人	実	62 人	実	-

※交付金活用事業に関する外部評価は「R4 年度検証結果 (R3 地方創生関係事業)」を御参照願います。

事業②	天王小学校空き校舎リノベーション事業	計画期間	令和4年度～令和8年度 (交付金活用事業は令和4年度のみ)
事業概要	当市では「製造業」に重点を置いた企業誘致を進めてきた一方で、IT 関連、研究開発など「先端産業」の誘致が遅れており、若年層の就職動向には「希望する職種がないために地元就職を諦める」一定の傾向が見られていることから、市立天王小学校の空き校舎において防火対策工事や空調設備等の増設を行い、「シェアオフィス1型施設」として運営し、IT 関連の先端企業の「企業誘致」を行う。また、誘致企業と市内企業とのマッチングを通じて多様な就労環境を創出し、将来的な若者の U・I ターンや地元定着を図る。		

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
入居企業数 (累計)	0 社	目	3 社	目	5 社	目	6 社	目	7 社	目	8 社
		実	7 社	実	9 社	実	13 社	実	-	実	-
入居企業に勤める UJI ターン移住者数 (累計)	0 人	目	3 人	目	6 人	目	8 人	目	10 人	目	12 人
		実	0 人	実	0 人	実	0 人	実	-	実	-
市内で開業した (開業することが決まっている) 入居企業数 (累計)	0 社	目	0 社	目	0 社	目	0 社	目	2 社	目	2 社
		実	0 社	実	0 社	実	0 社	実	-	実	-

※交付金活用事業に関する外部評価は「R5 年度検証結果 (R4 地方創生関係事業)」を御参照願います。

事業③	大倉喜八郎別邸「蔵春閣」移築及び利活用による新発田駅前エリア活性化プロジェクト	計画期間	令和4年度～令和8年度 (交付金活用事業は令和4年度のみ)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・当市出身の実業家「大倉喜八郎」の別邸「蔵春閣」が当市に移築されたことを契機に、「動態保存」の考え方にに基づき、「ひとの流れ」を創出し、「観光客・来訪者に楽しんでもらえる仕組みをつくる」ため、施設の利活用に必要な附帯施設を整備し、賑わい創出を実現する。 ・蔵春閣と敷地内庭園を一体的に活用し、多くの人々が訪れる交流拠点施設とするため、施設の魅力向上、来訪者の利便性向上、バリアフリー対応に必要な整備、外構整備を行うとともに、必要な撤去工事や周辺の植栽、警備設備導入工事を実施する。 ・厨房機器やデジタルを活用した幅広い取組の実施に向けた備品類を導入する。 		

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
蔵春閣入込客数	0 人	整備工事のため 実績なし		目	12,000 人	目	16,000 人	目	20,000 人	目	24,000 人
				実	65,737 人	実	31,134	実	-	実	-
駅前エリア来訪者数	3,250 人	目	5,000 人	目	7,000 人	目	8,000 人	目	9,000 人	目	10,000 人
		実	4,927 人	実	65,737 人	実	68,586 人	実	-	実	-
蔵春閣を活用した民間主体の事業実施数	0 件	整備工事のため 実績なし		目	20 件	目	30 件	目	40 件	目	50 件
				実	59 件	実	76 件	実	-	実	-

※交付金活用事業に関する外部評価については「R5 年度検証結果 (R4 地方創生関係事業)」を御参照願います。

デジタル実装タイプ（TYPE1） ※本交付金はデジタル実装に係る交付金のため、単年度補助

事業①	AI チャットボット導入事業		担当課	市民生活課、環境衛生課
計画期間	令和6年度～令和8年度 (交付金活用事業は令和6年度のみ)	関連事務事業	住基・印鑑登録管理事業	
事業概要	市民向けにAIチャットボットを構築、導入し、市民生活に密接な関わりを持つ、市民生活課や環境衛生課の特に問い合わせが多く、市民の方が知りたい情報を24時間365日いつでもアクセスし、簡単に照会できるようにすることで、市民サービス向上を図るとともに、業務時間中の電話での問い合わせ件数が削減され、業務の効率化を図ることができる。			
実施概要 (実績)	令和6年度整備内容			
	○AIチャットボット導入(9月30日運用開始) 【機能等】 ・証明書発行、マイナンバー関連、住民異動に関する問い合わせに対応 ・ごみの分別や捨て方に関する問い合わせに対応 ・子育てアプリ等との連携			

重要業績評価指標 KPI (数値目標)		R6 年度	R7 年度	R8 年度
AIチャットボットの年間利用件数	目標値	5,000件	10,000件	13,000件
	実績値	6,623件	-	-
AIチャットボットの利用満足度	目標値	50%	60%	70%
	実績値	69%	-	-

事業費	R6 年度
計画額	2,860,000円
実績額	2,859,340円
交付金充当額(1/2)	1,429,670円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

事業概要【AIチャットボット導入事業】

自治体名	新潟県新発田市	人口	92,971人	事業費	2,860千円
事業概要	市民向けにAIチャットボットを構築、導入し、市民生活に密接な関わりを持つ、市民生活課や環境衛生課の特に問い合わせが多く、市民の方が知りたい情報を24時間365日いつでもアクセスし、簡単に照会できるようにすることで、市民サービス向上を図るとともに、業務時間中の電話での問い合わせ件数が削減され、業務の効率化を図ることができる。				
具体サービス	【AIチャットボット導入事業】 ・市民生活課の証明書発行、マイナンバー関連、住民異動に関する問い合わせに対応 ・環境衛生課のごみの分別や捨て方に関する問い合わせに対応 ・令和5年度に導入する、子育てアプリ等とも連携を図り、より分かりやすく、統一感を持たせる		<p>市ホームページ AIチャットボット AIが回答</p> <p>The diagram illustrates the AI chatbot's role in providing answers to queries on the city homepage and various services like document issuance, waste disposal, and childcare.</p>		
主なKPI	【アウトプット指標(活動指標)】 ①AIチャットボット利用件数		【アウトカム指標(成果指標)】 ①AIチャットボットの利用満足度		

事業②	窓口キャッシュレス決済導入事業		担当課	会計課
計画期間	令和6年度～令和8年度 (交付金活用事業は令和6年度のみ)	関連事務事業	窓口キャッシュレス決済導入事業	
事業概要	キャッシュレス決済の国を挙げての推進等により、民間での支払については、キャッシュレス決済が普及してきているが、当市市庁舎等における支払については、現金での取扱いとしているため支払方法の選択肢がなく、利用者にとって不便であり、また会計に係るサービス提供にも時間を要している。この事業を実施することで、利用者の支払の選択肢を増やし、サービス提供の時間短縮を図る。			
実施概要 (実績)	令和6年度整備内容			
	○キャッシュレス決済導入(10月1日運用開始) 【導入施設】 ・本庁舎(市民生活課2台、税務課1台) ・3支所(各支所1台) ・観光施設等(蔵春閣1台、市島邸1台、あやめの湯1台、滝谷森林公園1台) ※その他、紫雲の郷では既存の端末を利用したキャッシュレス決済を導入(10月19日運用開始)			

重要業績評価指標 KPI (数値目標)		R6 年度	R7 年度	R8 年度
キャッシュレス決済比率	目標値	10%	15%	20%
	実績値	11.61%	-	-
窓口での会計時間の短縮(年間)	目標値	288 時間	433 時間	577 時間
	実績値	228 時間	-	-
キャッシュレス決済サービスに利用者満足度	目標値	70%	72%	74%
	実績値	85.4%	-	-

事業費	R6 年度
計画額	3,929,000 円
実績額	3,868,055 円
交付金充当額(1/2)	1,934,027 円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

事業概要【窓口キャッシュレス決済導入事業】

自治体名	新潟県新発田市	人口	92,971人	事業費	3,869千円
事業概要	キャッシュレス決済の国を挙げての推進等により、民間での支払については、キャッシュレス決済が普及してきているが、当市市庁舎等における支払については、現金での取扱いとしているため支払方法の選択肢がなく、利用者にとって不便であり、また会計に係るサービス提供にも時間を要している。この事業を実施することで、利用者の支払の選択肢を増やし、サービス提供の時間短縮を図る。				
具体サービス	【窓口キャッシュレス決済の導入】 ・クレジット・電子マネー・QRコード決済等の決済手段に対応できるキャッシュレス決済端末の導入 ・現金収納とキャッシュレス決済が管理可能なレジシステムを導入				
主な KPI	【アウトプット指標(活動指標)】 ①キャッシュレス決済比率(件数比) ② ③		【アウトカム指標(成果指標)】 ①窓口での会計時間の短縮(年間) ②キャッシュレス決済サービスの利用者満足度 ③		

事業③	電子契約システム導入事業		担当課	契約検査課
計画期間	令和6年度～令和8年度 (交付金活用事業は令和6年度のみ)	関連事務事業	電子契約システム導入事業	
事業概要	現在、契約の締結においては、紙の契約書を作成し、双方ともに記名押印している。今後、電子契約システムを導入することで、市が契約書をアップロードし、受注者は承認するだけで契約締結となる。これにより、受注者は、来庁に伴う移動時間や電話連絡等、契約事務に係る時間を削減することができる。併せて、印紙税、封筒及び切手代といった直接コストの削減も図る。			
実施概要 (実績)	令和6年度整備内容			
	○電子契約システム導入（10月1日運用開始） 【機能等】 ・電子署名機能・アラート機能（通知機能） ・クラウドにて契約書データを保管 ・契約書データの検索機能			

重要業績評価指標 KPI (数値目標)		R6 年度	R7 年度	R8 年度
電子契約件数	目標値	122 件	670 件	730 件
	実績値	38 件	-	-
受注者の印紙税削減額	目標値	230,000 円	3,523,000 円	3,628,000 円
	実績値	325,200 円	-	-
紙での契約締結から電子契約にすることで削減される業務時間	目標値	37 時間	201 時間	219 時間
	実績値	11.4 時間	-	-
電子契約を行った受注者の満足度	目標値	3 ポイント	3.5 ポイント	4.0 ポイント
	実績値	未計測	-	-

事業費	R6 年度
計画額	1,408,000 円
実績額	1,408,000 円
交付金充当額 (1/2)	704,000 円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

事業概要【電子契約システム導入事業】

自治体名	新潟県新発田市	人口	92,971人	事業費	1,408千円
事業概要	現在、契約の締結においては、紙の契約書を作成し、双方ともに記名押印している。今後、電子契約システムを導入することで、市が契約書をアップロードし、受注者は承認するだけで契約締結となる。これにより、受注者は、来庁に伴う移動時間や電話連絡等、契約事務に係る時間を削減することができる。併せて、印紙税、封筒及び切手代といった直接コストの削減も図る。				
具体サービス	【電子契約システム】 ・電子署名 ・クラウドにて契約書データを保管 ・契約書データ検索機能 ・アラート機能				
主な KPI	【アウトカム指標（成果指標）】 ①受注者の印紙税削減額 ②紙での契約締結から電子契約にすることで削減される業務時間 ③電子契約を行った受注者の満足度				

○令和5年度以前にデジタル実装タイプを活用した事業

交付金活用年度における実施内容及び事業費等については当該年度の検証結果を御参照ください。

事業①	行政手続のオンライン化による住民サービスの向上事業		担当課	情報政策課
計画期間	令和5年度～令和7年度 (交付金活用事業は令和5年度のみ)	関連事務事業	住民情報システム管理運営事業	
実施地域	村上市・胎内市・ 新発田市 ・阿賀野市・加茂市・三条市・魚沼市・上越市・妙高市・佐渡市・阿賀町・湯沢町の10市2町による広域連携事業(主たる申請者は阿賀町)			
事業概要	住民や事業者の行政手続に係る大幅な利便性の向上、行政側の標準化・効率化を図るため、窓口来庁又は郵送での申請が必要であった行政手続について、申請手続や手数料等の支払いから行政内部の事務処理まで一貫してオンラインで処理できる仕組みを整備する。			

重要業績評価指標 KPI (数値目標)		R5 年度	R6 年度	R7 年度
住民、事業者から電子申請・予約が行われた割合(各市町の達成状況)	目標値	30%	50%	70%
	実績値	29.4%	25.2%	-
手数料等支払時に電子収納が利用された割合(各市町の達成状況)	目標値	未設定	40%	60%
	実績値	未計測	0.5%	-
LINE を経由して電子申請・予約がされた割合(各市町の達成状況)	目標値	10%	20%	30%
	実績値	0%	0.1%	-
住民・事業者の利用満足度(各市町の達成状況)	目標値	3ポイント	3.5ポイント	4ポイント
	実績値	未計測	未計測	-
共同調達による削減費用(12市町合計)	目標値	12,513,600円	25,027,200円	25,027,200円
	実績値	12,513,600円	25,027,200円	-
共同でシステムを導入したことによる、手続ページ作成等業務削減時間(12市町合計)	目標値	10,000時間	15,000時間	20,000時間
	実績値	10,400時間	10,480時間	-
システムの共同利用により削減された事業者・市民の操作方法習得に要する時間(12市町合計)	目標値	10,000時間	15,000時間	20,000時間
	実績値	4,853時間	13,443時間	-

※「数値目標」、「目標値」は広域連携で事業に参画する12市町で共通となっています。

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

※寄附実績については、市ホームページにて公表の同意を得ている企業情報を掲載していますので、そちらをご覧ください。

事業①	大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト		担当課	みらい創造課、商工振興課
計画期間	令和2年度～令和6年度（5か年）	関連事務事業	蔵春閣移築関連事業、城下町しばた全国雑煮合戦参画事業、商工観光団体支援事業	
事業概要	明治45年、当市出身の実業家・大倉喜八郎が向島隅田川沿いに建設した別邸の一部『蔵春閣』が（公財）大倉文化財団から移築・復元を含め、新発田市に寄附されることとなった。大倉スピリッツ「進一層」の精神に基づき、『蔵春閣』という新たな市のシンボルを宝にして、市民意識の醸成と関係人口、交流人口の増加を図ることにより、地方創生を加速させる。			
実施概要 (実績)	R2年度	R3年度	R4年度	
	○蔵春閣移築・復元過程の映像化・市民向け周知（641千円） 移築・復元過程の映像化の企画立案、市民向け啓発映像の作成、市民等への普及啓発に向けたワークショップの開催	○蔵春閣移築・復元過程の映像化、市民向け周知（3,613千円） 蔵春閣移築工事完成までの工程を撮影、SNSを活用した情報発信	○蔵春閣移築・復元過程の映像化、市民向け周知（4,000千円） 蔵春閣移築工事完成までの映像撮影、工事用囲い・ヨリネスしばたを活用した写真展示、SNSを活用した情報発信	
	R5年度	R6年度		
	○蔵春閣開館後の誘客促進・駅前エリアの賑わい創出（1,100千円） ・まちづくり団体と連携して、マルシェ、講演会など施設の活用事例を示す複合型イベント「闇びらき」の企画運営 等 ○情報発信・PR事業（550千円） ・地域情報ウェブサイトにおいて、インフルエンサーによるブログ形式での情報発信、Web広告を活用した情報発信 等	○蔵春閣開館後の誘客促進・駅前エリアの賑わい創出（1,989千円） ・まちづくり団体と連携した「闇びらき」の企画運営（蔵春閣館内でのまちづくりゲーム体験や東公園内でキッズパークを開設） 等 ○情報発信・PR事業（990千円） ・地域情報ウェブサイトにおいて、インフルエンサーによるブログ形式での情報発信、Web広告を活用した情報発信 等 ○大倉喜八郎の顕彰（765千円） ・まちづくり団体と連携して、御免町小学校の児童・保護者を対象としたクイズイベント 等		

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
駅前エリア来訪者数（※）	2,000人	目	3,000人	目	5,000人	目	7,000人	目	8,000人	目	9,000人
		実	3,250人	実	4,510人	実	4,927人	実	65,737人	実	68,586人
観光入込客数	265万人	目	265.5万人	目	266万人	目	267万人	目	268万人	目	268万人
		実	120万人	実	124.1万人	実	183.4万人	実	202.6万人	実	194.8万人

※本プロジェクトに関連した来訪者数に限る。

事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	合計
寄附受領額	11,700,000円	300,000円	0円	500,000円	1,000,000円	13,500,000円
計画額	0円 (641,000円) ¹²	3,613,000円	4,000,000円	1,650,000円	2,744,000円	12,007,000円
実績額	0円 (641,000円)	3,613,000円	4,000,000円	1,650,000円	3,744,000円	13,007,000円
寄附金充当額	0円 (641,000円)	3,613,000円	4,000,000円	1,650,000円	3,744,000円	13,007,000円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていきたい。

¹² R1年度に受領した旧企業版ふるさと納税制度に基づく寄附金のうち、R2年度に繰越事業として実施したもの。

事業②	「公共交通」×「起業・創業支援」×「まちの顔づくり事業」で繋ぐ新発田市地域活性化プロジェクト		担当課	市民まちづくり支援課、商工振興課、観光振興課、維持管理課
計画期間	令和2年度～令和6年度（5か年）	関連事務事業	コミュニティバス運行事業、創業支援事業、誘客促進事業、街なみ環境整備事業、中心市街地エリア空き店舗利活用推進事業	
事業概要	①「公共交通の充実」（買い物困難者を支える公共交通手段の整備・充実、利便性の高い待合所などの整備、地域の実情に応じた公共交通ルートの整備）、②「起業・創業支援の充実」（各種支援制度の充実、空きビル・空き店舗対策、キッチンカー・移動販売など新たな創業分野への展開）、③「中心商店街周辺のにぎわい・活性化」（遊休地などの利活用、居心地の良い空間・環境整備、まちづくりを推進する統一ロゴマーク作成などによるまちの魅力向上）の3事業を柱とした地域活性化プロジェクト			
実施概要 (実績)	R2年度		R3年度	
	○公共交通の充実（6,973千円） 市街地循環バスの停留所に待合所やベンチを整備 ○起業・創業支援の充実（3,000千円） 創業支援制度の拡充 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（2,500千円） 中心市街地活性化に向けた調査研究		○起業・創業支援の充実（4,500千円） 移動販売事業を含む新規創業支援 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（1,000千円） 中心市街地の賑わい創出等に向けたエリアマネジメント研究	
	R5年度		R6年度	
	○公共交通の充実（3,972千円） ・川東コミュニティバスの車両更新 等 ○起業・創業支援の充実（5,001千円） ・新規起業支援 等 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（14,109千円） ・「水のみち構想」の一環として、新発田川親水広場の整備 等		○起業・創業支援の充実（8,500千円） ・新規創業者支援 等 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（3,500千円） ・まちづくり団体が実施するリノベーション事業の支援 等	
			R4年度	
			○公共交通の充実（8,911千円） 市街地循環バスの車両更新や音声案内の追加 ○起業・創業支援の充実（3,000千円） 新規創業支援事業 ○中心商店街周辺のにぎわい・活性化（7,500千円） 民間主体の空き店舗リノベーションや情報発信の支援、中心市街地の賑わい創出に向けた調査研究、民間主導によるまちづくりを行政が伴走支援できるよう計画を策定	

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
あやめバスの年間利用者数	77,850人	目	78,100人	目	78,350人	目	78,600人	目	78,850人	目	79,150人
		実	63,905人	実	64,969人	実	67,068人	実	71,111人	実	81,424人
民間主体のイベント実施割合	79.0%	目	80.0%	目	81.0%	目	82.0%	目	83.0%	目	84.0%
		実	72.0%	実	23.0%	実	58.0%	実	83.3%	実	82.1%

事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	合計
寄附受領額	20,500,000円	20,200,000円	20,100,000円	24,100,000円	22,000,000円	106,900,000円
計画額	15,500,000円	5,500,000円	19,411,000円	23,082,000円	12,000,000円	75,493,000円
実績額	12,473,000円	5,500,000円	19,411,000円	23,082,000円	12,000,000円	72,466,000円
寄附金充当額	12,473,000円	5,500,000円	19,411,000円	23,082,000円	12,000,000円	72,466,000円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

○その他に関する外部評価

外部評価
・集客力のあるイベント等において、市の公式 SNS への登録を促す取組を検討してほしい。